

8.1 校地校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境

<施設設備>

本学の校地面積は次図に示すとおり 80,652 m²であり、校舎の床面積は 37,298 m²である。校舎等の耐震化率は 100%である。



図 8.1 本学のキャンパス全体図

本学は福山市御幸町に位置し、敷地面積 8 万平方メートルに大小講義室、研究室、コンピュータ室、看護学部棟、こども学科棟、附属図書館、第 1・2 体育館、トレーニングセンター、武道館（クラブハウス）及び食堂、や売店など、13 棟の建物に加え、開学 30 周年を記念し令和 6 年度に「学生会館」が完成しました。

なお、各々の施設・設備については、次のとおりとなっています。

- 1) 講義室は、3, 4, 7 号館の講義棟に 16 室、看護棟に 5 室、図書館に 2 室の計 23 室を設置している。また、実習室は、2 号館・看護棟に 10 室、こども学科棟に 15 室（ピアノレッスン室を含む。）の計 25 室を、ゼミ・演習室は、1・2 号館と看護棟に 12 室を整備している。

2) コンピュータ室

コンピュータの授業を行う 5 号館では、1 階にコンピュータ室が 2 教室、2 階に ICT 学修室（5201、5202）が 2 室あります。また、1 階に配置している大学教育センターでは、資格取得の支援や授業用ノートパソコンのサポートの相談などを行っています。

3) 看護学部棟

鉄筋コンクリート造り5階建て（延べ床面積5,306㎡）で、できるだけ現場の状況に沿った実践的な学修を行うため、1階に地域交流センター、小児看護学実習室、母性看護学実習室、2階に畳の部屋のある在宅看護学・介護学実習室、入浴実習室、ゼミ室6室、3階にナースステーション、ICU治療室、ベッドを25台配置してある基礎看護学実習室、4階に成人・老年看護学実習室、フィジカルアセスメントルーム、講義室、5階に教員研究室等を配置しています。

4) こども学科棟

鉄筋コンクリート造り3階建（延べ床面積2,964㎡）で1階に音楽室・演奏会室、遊戯室、家政調理室、多目的室、2階に保育実習室、図画工作室、理科実験室、3階にピアノレッスン室（10室）、多目的実習室（小学校模擬教室）を配置しています。また、2階及び3階にこども学科教員の研究室を14室配置し、こども学科棟東側に「思考・創造・共同の庭」を整備しています。

5) スポーツ施設

- 全天候型グラウンド（照明灯完備）は、ウレタン舗装400mトラック6レーン、人工芝のサッカー場が完備されています。なお、令和5年4月には人工芝の張替えを行いました。さらに、グラウンド内に熱中症対策として輻射熱板の屋根がある休憩所を整備しています。また、全天候型サンドグラス（照明灯完備）のテニスコート4面を整備しています。
- トレーニングセンターには、運動中の体温、心拍数、血圧の変化をコンピュータに取り込み身体健康度をチェックしたり、有酸素能力を測定し安全な運動プログラムを作成する機器等を取り揃えています。生体機能・行動科学分析室、鏡・ビデオ視聴機器等を完備したフィットネスルーム、競技者向けのフリーウェイトから健康増進のための有酸素系機器、初心者やリハビリ対象者向けの機器などが完備されたトレーニングルームなどクラブ活動の基礎体力作りや健康維持のために幅広く活用されています。また、4号館1階4101室に肉体疲労回復や治癒力の向上が期待できる「酸素ルーム」を設置しています。
- 体育館は、第1体育館並びに第2体育館の2棟を配置しており、特に、第2体育館の1階には、国際大会ができるバレーボールコート2面（ゲーム用バレーボール3面、バスケットボール2面、ハンドボール1面、フットサル1面、バトミントン8面が兼用コートとして使用可能）の広さがあり、また、玄関ホールにはクライミングウォールが設置してあります。2階には、多目的ギャラリー部分が広く、器械体操（鉄棒、あん馬、つり革等）、卓球（7コート）、ボクシングジムの施設を整備しています。

6) 学生会館

令和6年度に開学30周年を記念し図書館南側に「学生会館（日新館）」を建設し、1階に学生が自由に集えるスペースとして、ラウンジ・ホワイエを設け、2階にゼミ等で使用する学習スペースとして、ラーニング・コモンズを設けています。さらに、会館内に704人収容可能な講堂を設け、主に、大学行事（入学式、学位記授与式等）並びに学科発表会等に使用しています。

7) 福利厚生施設

- 本学南側に位置する教員宿舎「爽風会館（3階建）」を令和6年度に学生の福利厚生施設として利用できるよう改修し、ゼミ並びに学生の自習室として1階にアクティブ・ラーニング室を7室（82人収容）、研修並びにサークル活動として利用できる2階・3階に宿泊室を16室（52人収容）整備しています。
- 8号館1階に食堂「さくら Dining」、2階に売店を配置しています。また、プラザには、月2回の割合で「フードトラック」を招致し、デザート類（ドリンク、クレープ、アイスクリーム等）を販売しています。

8) 附属図書館

附属図書館は、令和8年5月1日現在で蔵書数96,531冊、学術雑誌タイトル数539件を保有し、閲覧座席数は200席を用意している。なお4年次生や大学院生には貸出冊数及び期間ともに増やし、学生のニーズに対応するように設定している。館内には閲覧室の他に、インターネットコーナーや情報検索コーナーなどを配置し、学生の学修環境の整備を行っている。また、館内にラーニング・コモンズ室を2室整備し、学生の自主的な学習やグループ学習を支援する環境を整えている。利用については、学生便覧やホームページなどに記載するとともに、新入生のオリエンテーションなどで指導している。特に、1年次の初年次教育としての「平大入門ゼミ」では学生が実際に図書館に出向き、図書館職員がコンピュータを使用した蔵書検索や論文検索などの方法について説明を行うなど、図書館利用につながるような仕組みを作っている。

9) 大学教育センター

大学教育センターでは、学修支援室（5号館1階）で資格取得の支援、ノートパソコン必携化のサポートなど、学生の相談窓口として、常駐の専任教員がきめ細かく対応しています。

資格試験の内容・勉強方法や受験申込受付などについての質問・相談や、授業で使う各自のノートパソコンの不具合や操作などで困ったことがあれば、気軽に窓口にご相談ください。また受験料補助制度や合格奨励金給付制度のご利用なども、ここで受け付けています。

大学教育センターは、学生の学修を側面から支えています。ぜひ有効に活用してください。

10) 情報基盤センター

全学部学科の学生を対象とした情報活用能力のレベルアップを図るために、5号館に4部屋のコンピュータ演習室を開設しており、合計75台のデスクトップパソコンが整備されています。また、この中の2部屋は、学生が持参するノートパソコンの機能を十分活用できるように、主にモバイル機器の利用に適したICT（情報通信技術）学修支援室として整備されています。ここでは、実社会に適応した標準的アプリケーションソフトウェアやインターネットを使った演習、プレゼンテーション技術を学ぶ演習などを行なっています。さらに、情報処理教育方法の研究や高学年のゼミナール、学生の個人学習にも利用されています。

これらのコンピュータ演習室は、授業で使用していない時間は開放されており、いつでも誰でも自由に利用できます。わからないことやトラブルが発生した場合には、専門教員が親切、丁寧な対応を行います。ICT化が日々急激に進展する中、常に新しい学修環境の整備に配慮し、全学生のスキル向上を支援しています。

また、学内には無線ネットワークが整備されており、ノートパソコン、タブレット端末、スマートフォンなどのモバイル機器を接続して、インターネットを利用できます。

(情報システムの整備状況は以下の通り)

■学生ポータルシステム Zelkova（ゼルコバ）



学生支援総合システム（学生ポータルシステム）として Zelkova（ゼルコバ）を整備している。教務、学生生活、進路・就職など、平大生に必要な情報を幅広く提供するポータルシステムである。

■学修支援システム Cerezo（セレッソ）



学修支援システムとして Cerezo（セレッソ）を整備している。大学での授業や自宅での予習・復習など、学修を総合的に支援するシステムである。出席の確認、教材の配布、お知らせの掲示、レポートの提出、小テストの実施、質問の受付・回答などを行う。さらに、入学前教育にも Cerezo を活用している。

平成30年度から、セレッソに対応したeラーニング教材を導入した。

■マイクロソフトの Office 製品・関連クラウドサービス Office 365



学修・教育環境の整備、学生サービスの向上などを図る目的で、マイクロソフトと教育機関向けソフトウェアライセンス総合契約を締結している。

学生・教職員は、Office365 ポータルサイトへサインインすることにより、Office 365 などのマイクロソフトの Office 製品や関連するクラウドサービスを無償で利用できる。

1 1) アクセス

本学へのアクセスは、JR 福山駅より JR 福塩線に乗り換え「神辺駅」で下車してスクールバスに乗る方法（スクールバス運行時間約 10 分）、JR 福塩線「万能倉駅」で下車して歩く方法（徒歩所要時間約 15 分）、JR 福山駅南口から中国バス「中国中央病院方面行」に乗車して大学に隣接する中国中央病院で下車する方法（所要時間約 25 分）がある。

